**数(4) ~オリジナルストーリーを作ろう！~**

○　目標：タスクを通して、”How many?” “~, please.”の表現に慣れ親しみ、１人

で使えるようになる。

○　対象：小学校５年生

○　文法：How many? / ~, please.

○　語彙：1 ~ 20, boot, bell, stick, ball, star

○　準備：絵本『The Letter from Snowman』、白紙の画用紙(児童が絵を描く　　　　　　　　　　　　　　　もの)、くじ(６つのグループが書かれたもの)、シーン別に絵が描かれた画用紙(児童が発表で使うもの)、　両面テープ、色鉛筆、ツリー(最後に児童全員のオーナメントを飾るもの)、クリスマスソング

**＜タスクの進め方＞**

○　**Pre-task**

1. 『The Letter from Snowman』の絵本を用いて、１～２０の英語での数え方を導入する。その際、教師は児童が学習に興味・関心を持って取り組めるようにするため、絵本に出てくる簡単な言い回しを児童に言わせたり、話の内容を予測させたりする。また、“How many ~? / ～, please.”や１～２０の英語での数え方を導入するため、読み聞かせの中でそれらの言い回しをたくさん言わせるようにする。

○**Task**

1. クラスを１グループ５~６人に分けて、グループで座らせる。

2. くじを引かせ、児童が描くオーナメントのお題を決めさせる。(果物屋さ

児童は、与えられたお題を１種類のみ時間内に出来るだけ多く絵を描き、

色を塗る。

3. １グループずつ順番に前に来て発表させる。

１） 描いた絵を先生に渡す。

２） シーン別に描かれた画用紙を元にストーリーへ巻き込む。

T: Taro goes to a sports shop.

S1: Hello, soccer ball, please.(児童が描いた物を要求)

T/S: How many?

S1: 2, please. (児童が描いた数を要求)

T: Here you are.

S1: Thank you.

３） 渡したオーナメントをツリーに飾り付けてもらう。

5. 児童を席に戻し、みんなでオーナメントの数を数える。

参考：『The Letter from Snowman』著者：廣史樹、篠原尚、杉山ちあき 2012

(Fumiki)